

スタカリだより4号

令和3年 4月30日
与那原小学校 保幼小連携担当
金城 愛梨

1. 連続ですが・・・続けて紹介します！！

前号に、弾力的な時間割の設定について、ちょっと紹介してもらいました。スタカリだより4号では、①生活科を中心とした合科的・関連的な指導について、実践を踏まえながら紹介させて下さい♪




2. ①生活科を中心とした合科的・関連的な指導

園では遊びを中心として総合的に学んでいた子どもたちにとっては、「ここからは生活」「ここからは国語」などと分けるより、一連の活動の中に教科の内容が溶け込んでいる方が学びやすいのです。

例えば、生活科の学校探検で気付いたことなどを、言葉で表現したり友達と伝え合ったりする学習の場合、国語科の「伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること（A（1）ウ）」について合科的に指導することで、指導の効果を高めることができます。全ての単元を俯瞰できる単元配列表を作成して考えてみるのがポイントです。

【寶來志子『せいかつ探検隊』光村図書、2021年】

合科的・関連的な指導については、『発達や学びをつなぐスタートカリキュラム』（文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター平成30年4月）に具体的な考え方が記載されている。

	捉え方	タイプ(例)
合科的な指導	各教科のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元又は1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて、学習活動を展開するもの	【合科】 生活科を中心とした単元の学習活動において、複数の教科の目標や内容を組み合わせて学習活動を展開することで、指導の効果を高める 
関連的な指導	教科等別に指導するに当たって、各教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導するもの	【関連A】 生活科の学習成果を他教科等の学習に生かす 
		【関連B】 他教科等の学習成果を生活科の学習に生かす 

〈ちょこっと♪実践紹介!〉

①生活科×図工×国語

生活科の「わくわく ときどき しょうがっこう」の単元を中心とします。図工の「かきたいものなかに」で自分が好きなものの絵を描き、その絵のとなりに、自分の名前を書き、国語の「よろしくね」の単元で、「わたしは、〇〇です。××がすきです。」自己紹介していきます。



②生活科×音楽×体育

これは、生活科の教科書です。学習のはじまりとして、国語、算数、図工、生活、音楽の学習があることを伝え、知っている歌を歌いたいね～と音楽の教科へ繋げます(音楽の教科書↓) (生活の教科書→)



音楽では、「どなたかあるかな」と今まで園で歌ってきた知っている曲を絵から見つけていきます。めだかの学校、かえるのうた、チューリップ、ちょうちょ等、「この曲知ってるよ～」と安心して自己発揮して、楽しく歌に親しみます。

たくさんの知っている曲に親しんだ後、体育では「表現遊び」の学習に繋がります。ことりってどなたかな?めだかにもなってみよう!チューリップってどなたか咲くのかな?歌に合わせて、おもいっきり表現をして楽しみます。

